

事業番号	06 02 04	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	まちなか・おためしラボ事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	産業立地・経営支援課創業・サービス産業振興室	
	施策の総合的展開	1-5 地域の暮らしを支える産業振興 1 活力のある商業・サービス業の振興			E-mail	service@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H26	～	H29

1 事業の概要

目指す姿	県内IT産業振興の一環として、首都圏等からのIT人材や企業の移住・拠点開設の素地を作る。																								
現状(予算編成時)	首都圏に集積するIT人材・企業が長野県内に移住・拠点開設を検討する際に課題となるのは、住居、オフィス、生活費、地元でのつながり、相談先等である。各段階で生じる課題を解決するため、関係者と連携した各種支援を行う必要がある。																								
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】																							
	県民との協働による実施： 実施中	人口定着を図るため、県下全域を視野に検討していく必要がある。																							
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)																								
	移住支援件数:5件																								
	② 事業内容 (単位:千円)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th colspan="2">H27事業実績</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちなか・おためしラボ</td> <td>直接</td> <td>0</td> <td>4,945</td> <td>0</td> <td>9,908</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>0</td> <td>4,945</td> <td>0</td> <td>9,908</td> </tr> </tbody> </table>				項目	実施方法	H27事業実績		H27	H28	(当初)	(決算)	(当初)	(当初)	まちなか・おためしラボ	直接	0	4,945	0	9,908	合計		0	4,945	0
項目	実施方法	H27事業実績		H27			H28																		
		(当初)	(決算)	(当初)	(当初)																				
まちなか・おためしラボ	直接	0	4,945	0	9,908																				
合計		0	4,945	0	9,908																				

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越			5,230		項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		当初予算				9,908			目標	成果	達成状況	
		補正予算		5,230	0		移住支援件数	0	5件	8件	達成	12件
		合計(A)	0	5,230	5,230	9,908						
	Aの財源	一般財源			0	9,908						
		県債										
		国庫支出金		5,230	5,230							
		その他	0	0	0	0						
	決算額(B)				4,945							
概算人件費	職員数(人)		0.50	0.50	0.50							
	概算人件費(C)	0	4,129	4,138	4,138							
概算事業費(B(A)+C)		0	9,359	9,083	14,046							

目標に対する成果の状況	5組(最大15名)募集のところ、予想以上の応募(16組31名)があり、8組14名の参加者決定とした。約半年の「おためし」終了後、8組中7組が引き続き、長野県内に拠点を設置し続けるに至る(生活の本拠地を県内としている者も多い)。「おためし」終了後に引き上げた1組についても、引き続き長野県を訪れ、時間をかけて長野県への拠点設置(移住)を検討したいとしている。これらを勘案し、初年度としては、目標を上回る成果が得られたと捉えている。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成27年度事業を踏まえ、参加対象者の数を増やすとともに、対象地域を首都圏に加え、中京圏を加える。実施地域についても、H27年度の3市(長野市、上田市、飯山市)から10市町村にすることで、参加者の受け皿を増やすとともに、県内各地での「おためし」の実施を可能とする。
--------------------	---